

地域金融ダイジェスト

南都銀、地元木材の普及支援

奈良 南都銀行は地場産業である林業の活性化をねらい、奈良県吉野産のスギ材やヒノキ材の需要拡大プロジェクトの支援に乗り出す。第一弾として吉野産ヒノキ製の割りばしを同行が費用負担して製作。二〇一〇年に同県で開く平城遷都千三百年祭のマスコット「せんたくん」をデザインしたはし袋に入れ、首都圏のコンビニエンスストアで無料配布する。

◎記事は会員制サイト「日経ネットPLUS」
(<http://netplus.nikkei.co.jp/>)に詳細を掲載

日経ネットPlus+

日本経済新聞 朝刊MORE

2009年1月9日(金)付【経済】

◎南都銀、地元木材の普及支援

更新日:2009-01-09

南都銀行は地場産業である林業の活性化をねらい、奈良県吉野産のスギ材やヒノキ材の需要拡大プロジェクトの支援に乗り出す。第一弾として吉野産ヒノキ製の割りばしを同行が費用負担して製作。2010年に同県で開く平城遷都1300年祭のマスコット「せんたくん」をデザインしたはし袋に入れ、首都圏のコンビニエンスストアで無料配布する。

支援するのは「Yoshino Heartプロジェクト」。地元の林業家や木製品卸業者が昨年10月に旗揚げし、商品開発やPRに取り組む。マーケティング会社のハートツリー(東京・港、服部進社長)が事務局で、南都銀は当面オブザーバーとして参画。森林整備に向けた企業の社会的責任(CSR)活動としても位置付けている。

割りばしは間伐材を原料に14万膳を製作し、ローソンが首都圏で82店舗展開する「ナチュラルローソン」で2月中旬から配布する。

同プロジェクトは今春にも特定非営利活動法人(NPO法人)化する計画。南都銀も会員参加する方針で、店頭やイベントで吉野産木製品を配布するほか、地元の自治体や企業にプロジェクトへの参加を働きかけていく。